

令和2年度 学校評価報告書

長崎市立日見中学校

1 教育目標

感動：夢なき者に努力なし、努力なき者に成功なし、成功なき者に感動なし
 創造：現状維持は衰退の一步、時代の創造者たれ
 協調：必要なときは、力を合わせて大同団結

2 学校経営方針

「挨拶・返事・笑顔」日本一の学校を目指し、
 ①節度ある生活態度と中学生としての品性を身に付けさせる。
 ②基礎基本の学力の定着と、確かな学力の向上を図る。
 ③自らの生命を守るために、危機予測能力、危機回避能力を身に付けさせる。
 学校・家庭・地域の信頼構築に取り組み、「日見中学校だからできる」ことを考え、チャレンジする学校

3 重点目標

- ①基礎学力の定着を図る。
- ②基本的な生活習慣の確立を図る。
- ③豊かな心と自立の精神を育むことを図る。
- ④学校・家庭・地域の親和を図る。

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	90	87	62	学校教育目標に対して生徒・保護者は高い評価だが、職員は物足りなさを感じているようだ。明るく元気はあるが、節度のなさが感じられる場面があり職員の評価は低い。校務分掌については、職員数と分掌数のアンバランスの影響がある。個人の負担は確実に増えている。個人レベルに加え、全体として校務のスリム化の見直しが必要である。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	91	86	46	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			46	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			46	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	77	88	58	生徒指導面では、肯定的な意見が多い。ただ挨拶に対しては、教師が目指す姿にはもう一歩という見方が強い。教師・生徒共々に重点課題である。いじめや人権については、定期的な面談やアンケート等により、生徒が抱えている悩みや相談に即座に対応し、家庭への連絡もしている。今後は、保護者へ説明をさらに丁寧に進めることや生徒が教師に気軽に相談できる環境を整えていく。子ども達は小学校からの馴染みもあるためか冗談が行き過ぎてしまう傾向が強い。親しき中にも礼儀という視点を踏まえた人間関係作りが大切である。今後も心の時間や短学活の時間を利用して、生徒の心に訴える内容を学年や学級で継続して取り組んでいく。
		挨拶をよくしている	89	81	62	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)				
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	78	71	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	72	88	77	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	77	80	54	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	80	83	75	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	78	79	85		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	84	82	77	家庭学習の習慣が身に付いていないことは、三者で一致している。教師の評価が極端に低いのは、宿題以外の学習についてである。テスト前期間以外は、自主的な学習が少ない。定期テスト以外も各教科で連携し、漢字や英単語、計算等、教科の基本的な内容を定着させるためにミニテストの充実やコンテスト形式のものを実施する。学習内容の充実を図るために、家庭学習の方法を指導する。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	85	74	92	
		家庭学習の習慣が身に付いている	65	50	23	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	87	73	92	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである				